



# はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより

令和4年5月25日号

発行者 遠藤 一義 (校長)

☆令和4年度 学校教育目標☆  
夢をもって未来を切り拓く  
調和のとれた子どもを育てる

よく考えすすんで学ぶ有馬の子  
健康でたくましい有馬の子  
心豊かで思いやりのある有馬の子

## 「植物や生き物と触れ合うこと」

1年生がアサガオの種をまきました。毎日水をあげました。何日か経つと、芽を出しだんだん葉を広げるようになりました。



「やったーっ、芽が出た！」

「僕のは4つ！」「私は6個出たよ！」

毎日、自分のアサガオを大切に世話をしている1年生がたくさんいます。



近くには、2年生のミニトマトの苗が黄色い小さな花を咲かせ始めました。1年生のアサガオを眺めていると、「校長先生、花が3つ咲いたよ！」と教えてくれます。2年生も一生懸命世話をしています。

他にも、エダマメの種まきと、はるにれ橋を渡ったところの畑に、サツマイモの苗を植えました。栽培委員が昇降口に花を植えたプランターを並べる活動をしたり、バケツで稲を育てる活動などを予定したりと、花や野菜と触れ合う活動はしばらく続きます。

下校するときに、土を敷いた透明な飼育ケースを大切に抱えている姿が見られるようになりました。



「なに捕まえたの？」「トカゲだよ！」

のぞくと思った以上に丸々と太った姿が見られます。

3年生の廊下には、さなぎの入ったケースが置かれています。

「見て見て！、チョウになったんだよ。」

ケースの中にはさなぎから抜け出たばかりのチョウが一匹とまっています。

さらに、ダンゴムシ、カエル、カマキリ、バ

ッタ、カブトムシ、クワガタ…。小さな生き物を持った児童の数が多くなり、飼育ケースに入れて、手のひらでそっと抱え、時には頭の上に乗せて大切に育てている姿があちこちで見られます。

自分の手で直接触れて、水をあげたり餌をあげたりと面倒を見る中で、植物や生き物の成長や命の鼓動を感じる毎日を過ごしています。

「教科書では学ぶことのできない」体験が、有馬の子どもたちの優しさや思いやりにつながっています。

### \*児童のマスク着用について\*

気温が高くなるにつれ、熱中症の心配が高まってきました。「屋外」で「距離が十分に確保できる」時には「会話を控え」ながらマスクを外すよう積極的に声をかけることが、市のガイドラインで示されました。ご家庭でも、登下校時や放課後・休日に友だちと遊ぶときのマスク着脱について、お子様とご確認ください。



### ★6月の主な行事予定★ (5/25時点)

- 1日(水) 個人登校開始  
クラブ活動②
- 8日(水)～9日(木)  
5年生 野外教育活動
- 13日(月) プール授業①
- 14日(火) 朝会(校長講話)
- 17日(金) たてわり集会①
- 20日(月) プール授業②
- 22日(水)～23日(木)  
学校公開日
- 22日(水) クラブ活動③
- 27日(月) プール授業③

### ●電話対応時間について●

- \*通常の学校課業日：8時00分～17時30分
- \*長期休業中：8時30分～17時00分
- \*土曜・日曜・祝日：終日留守番電話対応
- \*その他、教職員研修日等、変則的になることがあります。ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。